



# 日乗連ニュース

## ALPA Japan NEWS

Date 2003.05.06

No 26 - .61

発行 日本乗員組合連絡会議 幹事会

ALPA Japan

〒144-0043

東京都大田区羽田5-11-4

フェニックスビル

TEL.03-5705-2770 FAX.03-5705-3274

E-mail:jffcu@phenix.or.jp

## SARS 関連の労使紛争情報（インド）

Indian Pilot が SARS 感染者多発地域への乗務拒否を行った報道がありましたが、以下 IFALPA 加盟協会 Indian Pilots Guild（インドパイロット協会）の 発信メールおよび IFALPA 会長の返答の抄訳を紹介し  
ます。また、5月2日付けにて IFALPA より Mutual Assistance（相互援助）の依頼が発行されました。

[Indian Pilots Guild]

2003年4月21日 Indian Pilots Guild は、SARS に関する WHO の方針に従い、当該フライトに係る乗員全員が最近10日間 SARS が蔓延している地域に立ち寄っていない事を会社が文書で確認しなければ乗務に就かない旨 Air India に通告しました。しかし Air India はこの種の文書を発行しておりません。

この結果基地を離れている乗員が乗務に就けない事態が発生しています。

ロンドンとニューヨークのケースでは、乗務に就かないと表明した乗員は、会社側より「滞在ホテルを出る。あとは会社の知ったことではない。」と言われました。ICAO の General Declaration Form により入国した乗員が国外に出る法的処理は会社側より提供されていません。この時点で関係する乗員は、泊まる場所、（帰国の航空券購入を含む）金銭の心配、さらに不法滞在扱いとなる、という3つの不安を抱えることになります。

我々のフライトの60%以上は東南アジア向けであり、会社は乗務ならびに海外滞在の乗員に対する適切な医学的対策を取っていません。さらに乗員が SARS に感染した場合の会社の責任について何ら所信を表明していません。このような経緯により Indian Pilots Guild は乗員の安全を守るため上記方策を取るに至ったものであり、ご理解をいただきたい。

なお4月27日12:00 インド標準時の報告では乗務停止12名、乗務停止の予告を受けた者は40名以上となっています。

[IFALPA 会長 Captain Dennis J. Dolan] 2003年4月29日発信

確かに SARS は感染すると恐ろしい病気ではある。しかしながら航空機運航乗員が感染したという報告は今の所ない。私の知る限り SARS は空気感染せず、咳などの飛沫感染および患者が触った物よりの接触感染により広まっている。減便にはなっているものの、感染地域に飛ぶ多くの便を飛ばせている航空会社においては、適切な配慮がなされている限り、乗員の感染例は報告されていない。また、他の航空会社も現時点では運航を取り止めてはいない。会長としては、この件については経営との十分な話し合いと冷静な対応が必要と考えている。Indian Pilots Guild においても、早急に Air India の経営と協議してこれ以上の混乱が起こらないよう努力されることをお願いしたい。

[IFALPA Mutual Assistance] 2003年5月2日発信

IFALPA は Indian Pilot 協会の依頼に基づき、「替わりの pilot 採用の禁止要請」「他国に滞在中の Pilot の援助」「India への移籍協定の拒否要請」を各国協会に要請しています。

